天盛なるべし。國主等其のいさめを用ずば鄰國にをほせつけて、彼々の國々の惡王惡比丘等をせめらるるならば、前代未聞の大闘諍一閻浮提に起るべし。❶其時日月所照の四天下の一切衆生、或は國ををしみ、或は身ををしむゆへに、一切の佛菩薩にいのり(祈)をかくともしるし(驗)なくば、彼のにくみ(憎)つる一の小僧を信て、無量の大僧等・八萬の大王等・一切の萬民、皆頭を地につけ掌を合て❷一同に南無妙法蓮華經ととなうべし。例せば神力品の十神力の時、十方世界の一切衆生一人もなく、娑婆世界に向て大音聲をはなちて、南無釋迦牟尼佛〈〉、南無妙法蓮華經〈〉と一同にさけびしがごとし。問曰、經文は分明に候。天台妙樂傳教等の未來記の言はありや。答云、汝が不審逆なり。釋を引かん時こそ經論はいかにとは不審せられたれ。經文に分明ならば釋を尋ぬべからず。さて釋文、經に相違せば❸經をすてて釋につくべきか如何。彼云、道理至極せり。しかれども凡夫の習經は遠し釋は近し。近釋分明ならば、いますこし信心をますべし。今云、汝が不審ねんごろなれば少々釋をいだすべし。天台大師云、後五百歳遠沾二妙道一。妙樂大師云❹、末法之初冥利不レ無。傳教大師云、正像稍過已末法太有レ近。法華一乘機今正是其時。何以得レ知。安樂行品云、末世法滅時也。又云、語レ

❶第12紙18行(眞)　❷〔一同に〕—(縮)　❸第13紙16行(眞)　❹〔云〕—(眞)

代則像終末初 尋」地唐東羯西 原」人則五濁之生鬪諍之時。經云 猶多怨嫉況滅度後 此言良有」以也云云。夫釋尊の出世は住劫第九の減、人壽百歳之時也。百歳と十歳との中間❶在世五十年滅後二千年と一萬年となり。其中間に法華經の流布の時二度あるべし。所謂在世八年、滅後には末法の始五百年なり。而に天台・妙樂・傳教等はすゝ進では在世法❷華經の時にももれさせ給ぬ。退ては滅後末法の時にも生させ給はず。中間なる事をなげかせ給て末法の始をこひ(繼)させ給御筆なり。例せば阿私陀仙人が悉達太子の生させ給しを見て悲云、現生には九十にあまれり。太子の成道を見るべ❸からず、後生には無色界に生て五十年の說法の坐にもつらなるべからず、正像末にも生るべからず、となげきしがごとし。道心あらん人々は此を見きゝて悅ばせ給。正像二千年の大王よりも、後世ををもはん人々は、末法の今の民にてこそあるべけれ。此を信ぜざらんや。彼の天台座主よりも南無妙法蓮華經と唱る❶❻癩人とはなるべし。梁武帝❼顧云、寧ろ提婆達多となて無間地獄には沈むとも、欝頭羅弗❽とはならじと云云。問云、龍樹・天親等の論師の中に此義ありや。答云、龍樹・天親等は內心には存ぜさせ給とはいえども言には此義を宣給はず。求云、いかなる故にか宣給ざるや。答云、多の故あり。一には

❶第14紙17行(眞) ❷法華經の時＝法華の時(眞) ❸〔る〕抹消(眞) ❶第15紙17行(眞)
❺主＋(東寺七大寺の碩學)(極) ❻る＋(白)(極) ❼帝＋(發)(極) ❽と＋(と)(眞)